

- 防衛装備庁では、防衛装備品に係るプロジェクト管理業務及び調達における価格算定業務に資する情報システムを管理運用しているところ、今般、プロジェクト管理及び価格算定に係る次期システムの整備に関し、現行システムからの確実かつ円滑な機能移行を行うため、その検討実施体制を見直すとともに、運用開始までの実施計画を策定。
- 運用開始までの間、検討の進捗状況についても適宜公表を行うこととし、公平性・透明性を担保した実効性のある整備を推進。

1. 検討実施体制の見直し

現行システムから次期システムへの機能移行に際し、次期システムの機能となるプロジェクト管理及び価格算定のそれぞれについて、検討委員会の下に専門の部会を設けるとともに、役割を明確化することにより検討体制を強化する。

【見直し後】

プロジェクト管理及び価格算定に係る次期システム検討委員会

〔委員長 防衛装備庁調達管理部長〕

- ・ プロジェクト管理及び価格算定の実現に向けた実施計画の策定及び進捗管理
- ・ 各検討部会で検討すべき議題の統制、指示
- ・ 各検討部会の検討結果に対する意思決定

プロジェクト管理システム検討部会

〔部会長 防衛装備庁プロジェクト管理部事業計画官付企画室長〕

- ・ 現行LDPのLCC管理機能、EVM機能の活用
- ・ 次期LDPシステムの各機能の検討（COTSソフトウェアの導入検討を含む）
- ・ プロジェクト管理を円滑に実施するための体制、枠組み、制度等の基盤整備に関する事項の検討及び付随する事務の実施

コストデータ活用検討部会

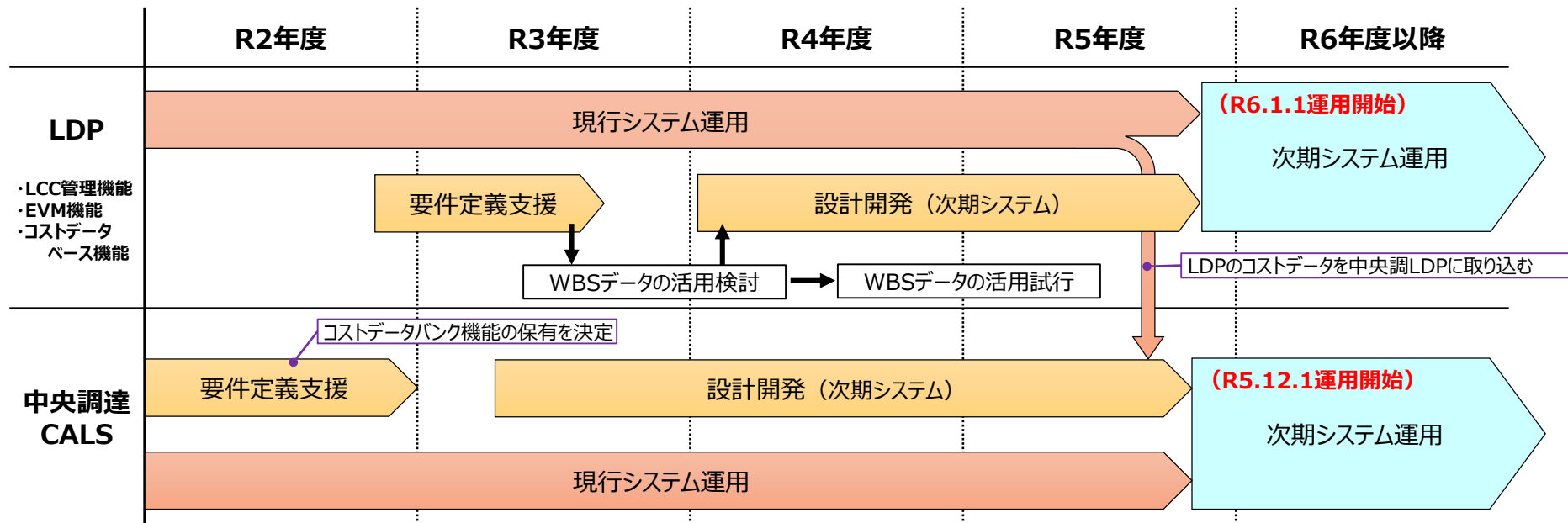
〔部会長 防衛装備庁調達管理部原価管理官付原価管理制度総括官〕

- ・ 現行LDPから次期CALSへのコストデータの移行
- ・ 次期CALSのコストデータバンク機能の活用の検討（上記COTSソフトのデータ利活用可能性の検討を含む）
- ・ コストデータの収集管理及びその活用要領の策定、教育研修・普及の在り方の検討及び付随する事務の実施

2. 整備実施計画

「次期LDPシステム運用開始までの検討事項」(プロジェクト管理機能)

- ・ ライフサイクルコスト (LCC) データに関する積算・管理の細部要領の構築 (装備品別、年度別、各種データ別)
- ・ 事業進捗管理 (EVM) で収集したデータの分析・閲覧機能の具体化
- ・ EVMで得られる装備品の各部位単位 (WBS) のデータ活用機能の検討 (次回又は新規契約での活用や将来装備品のLCC予測など)



「中央調達CALSへの機能統合までの検討事項」(コストデータバンク機能 ※現行LDPから移行する機能)

- ・ データの構造及び入力方法 (計算価格などのデータ蓄積の効率化など)
- ・ データの活用方法 (経年比較や類似品比較による見積検証など)
- ・ データの共有化とセキュリティ

(参考：用語の解説)

用語	解説
LDP, (ライフサイクルコスト・コストデータベース・パイロットモデル)	防衛装備品に係るプロジェクト管理業務の支援のための情報システム
CALS,中央調達CALS	防衛装備庁で行う装備品等の調達業務の支援のための情報システム
LCC (Life Cycle Cost)	装備品等のライフサイクルを通じてそれらの取得を行うのに必要な経費であって、ライフサイクルの各段階ごとに算定される経費の総額
EVM (Earned Value Management)	契約の履行管理において、WBS要素ごとに完了予定期日と計画コストを定めて実際の進捗状況と実績コストを定期的に収集し、計画コストとの差異を分析することにより進捗の遅れ、コストの超過等の問題の兆候を早期に把握し、対処及び改善を図っていくマネジメント手法
COTS (Commercial Off The Shelf))	市販されている既製品
WBS (Work Breakdown Structure)	取得対象となる装備品等を、測定又は管理が可能な成果として把握できる単位にまで細分化し、体系化した階層構造